



Q 湯沢観光や関連産業情報を まとめたリーフレット作成は & 飯田正義 (文責)



A 行政のデータも含めDMOと 作成を検討している

京都市のような観光の効果を分かりやすく伝えるリーフレット作成は

質問 雪国観光圏が雪国観光圏シンポジウムを開催し、DMO政策を主導されていた大社先生をはじめ、観光庁や新潟県観光文化スポーツ部の方々が当日講師として来られた。DMOは「地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔」としての立ち位置を観光庁として定めている。湯沢町観光振興計画には「観光消費額や経済波及効果等を定期的に発信することで、町の基幹産業としての観光産業の実態を広く共有していきます」とあるが、シンポジウムで例として出されていた京都市のようなリーフレットの作成は。

連産業、産業の目指している姿等は、行政のデータの開示も含めて湯沢DMOとともに検討していく。

答弁 振興計画の戦略7にインナープロモーションの掲載があり、地域内への分かりやすい情報共有をしておく必要がある。観光産業や



観光の効果を分かりやすくお伝えするためのリーフレット「私たちの暮らしと京都観光」

AIカメラを活用したリアルタイムでの来町調査

質問 河川の氾濫等の防災で活用されていたAIカメラが昨今道路の交通状況、人の通過や滞留人数等の混雑情報をデータで測定できるようになっている。AIカメラを主要箇所へ設置し、町内外へ情報発信をしつつ、湯沢観光の発展に向けたデータ収集に役立てては。

答弁 観光産業を効果的に成長させていくためには、何よりもまずはマーケティングが重要であり、そのベースとなる市場調査やお客様の動きの把握はこれまで以上に精度を上げていく必要があると考えている。デジタル技術や情報、今回のAIカメラの活用もその一つになると考えるので今後研究をしていく。

冬季や繁忙期の夕飯難民対策

質問 昨シーズン駅周辺で夕飯難民の方々が多くいたが、今後の改善策や検討している取り組みはあるのか。

答弁 湯沢町の観光にとって大きな課題だと考えている。現時点では冬期間に湯沢DMOがキッチンカーを3台程度置くことや1月から3月まで各月でゆざわナイトマ

ルシエの開催を予定しており、上越線を活用し六日町周辺の飲食店を誘導するようなポスターやリーフレットを南魚沼市と作成する予定だ。